

活動報告書

2020-2021

公益社団法人 NEXT VISION

この冊子はウェブサイトにPDFファイルを公開しています。音声で聞いていただけますので下記よりご確認ください。二次元コードはこちら。



NEXT VISION へのご支援をありがとうございます。

みなさまのご支援・ご協力に支えられ、活動を継続することができます。

これからもよろしくお願いいたします。

(五十音順・敬称略) 2021年10月31日現在

■賛助会員■

```
伸浩
       (マツシマ ノブヒロ)
松島
       (マツムラ ミヨ)
松村
   美代
的井 典子
       (マトイ ノリコ)
       (ミヤケ ルミコ)
三宅
   るみ子
字路
   幸人
       (ミヤジ ユキヒト)
村井 薫
        (ムライ カオル)
       (ムラセ トモヤス)
村瀬 友救
        (モリ カズナリ)
森 一成
八子 恵子
       (ヤゴ ケイコ)
安井 利恵子
       (ヤスイ リエコ)
       (ヤナギ マサユキ)
柳 正之
       (ヤマシタ ヒデアキ)
山下 秀明
山田 久美
       (ヤマダ ヒサミ)
       (ヨシダ サヤカ)
吉田 沙矢香
吉本 領 (ヨシモト オサム)
医療法人誉祐会
              ( イリョウホウジン ヨシユウカイ )
オーカムジャパン
               (オーカムジャパン)
株式会社尼崎眼鏡院 メガネのアマガン
(カブシキガイシャアマガサキガンキョウイン メガネノアマガン)
株式会社東京メガネ神戸店 (カブシキガイシャトウキョウメガネコウベテン)
株式会社神戸ポートピアホテル(カブシキガイシャコウベポートピアホテル)
株式会社システムギアビジョン(カブシキガイシャシステムギアビジョン)
               (カブシキガイシャヒタチセイサクショ)
株式会社日立製作所
公益社団法人日本網膜色素変性症協会
( コウエキシャダンホウジンニホンモウマクシキソヘンセイショウキョウカイ )
河野医科器械株式会社
               ( コウノイカキカイカブシキガイシャ)
               (コウベシガンカイカイ)
神戸市眼科医会
               (ダイダンカブシキガイシャ)
ダイダン株式会社
ノバルティスファーマ株式会社 (ノバルティスファーマカブシキガイシャ)
バイエル薬品株式会社
               (バイエルヤクヒンカブシキガイシャ)
三井化学株式会社 ビジョンケア材料事業部
( ミツイカガクカブシキガイシャ ビジョンケアザイリョウジギョウブ )
八洲薬品株式会社
               (ヤシマヤクヒンカブシキガイシャ)
               (ワケンヤクカブシキガイシャ)
和研薬株式会社
```

■寄附■

中井 正憲 (ナカイ マサノリ) 安藤 伸朗 (アンドウ ノブロウ) 平見 恭彦 (ヒラミ ヤスヒコ) 飯野 初生 (イイノ ハツオ) 一枝 Lowenstein (カズエ ローエンスタイン)福田 みほ (フクダ ミホ) 前川 喜美恵(マエカワ キミエ) 北地 達明 (キタチ タツアキ) 万代 道子 (マンダイ ミチコ) 北山 隆一 (キタヤマ リュウイチ) 紳勝 (モリサワ シンカツ) 栗和田 榮一 (クリワダ エイイチ) 森澤 森田 和子 (モリタ カズコ) 越川 慎一 (コシカワ シンイチ) 守本 典子 (モリモト ノリコ) 鈴木 一俊 (スズキ カズトシ) 昌子 (ヤスダ マサコ) 安田 鈴木 信吾 (スズキ シンゴ) 山縣 祥隆 (ヤマガタ ヨシタカ) 園 順一 (ソノ ジュンイチ) 山下 秀明 (ヤマシタ ヒデアキ) 髙橋 淳 (タカハシ ジュン) 津坂 洋子 (ツサカ ヒロコ)

医療法人湘山会 眼科三宅病院

(イリョウホウジンショウザンカイ ガンカミヤケビョウイン)

一般社団法人チャレンジド・ヨガ〜視覚障がいの方のヨガ〜

(イッパンシャダンホウジン チャレンジド・ヨガ シカクショウガイノカタノヨガ)

猪俣眼科医院 (イノマタガンカイイン)

医療法人社団吉徳会 あさぎり病院

(イリョウホウジンシャダンヨシトクカイ アサギリビョウイン)

会員制サロン クラシカ (カイインセイサロン クラシカ)

株式会社宗味 (カブシキガイシャソウミ)

株式会社パイクとそら (カブシキガイシャパイクトソラ)

関西MSG (カンサイエムエスジー) ショパニストアーツ (ショパニストアーツ)

第21回日本ロービジョン学会学術総会

(ダイニジュウイッカイニホンロービジョンガッカイガクジュツソウカイ)

大日本住友製薬株式会社 (ダイニッポンスミトモセイヤクカブシキガイシャ)

ハルズベーカリー (ハルズベーカリー)

有限会社エムティーメディカルサービス

(ユウゲンガイシャエムティーメディカルサービス)

ラジオ大阪 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

(ラジオオオサカ ラジオ・チャリティ・ミュージックソン)

■パートナー■

 Platinum
 シスメックス株式会社 (シスメックスカブシキガイシャ)

 Bronze
 ViXion株式会社 (ヴィクシオンカブシキガイシャ)

 参天製薬株式会社 (サンテンセイヤクカブシキガイシャ)

■助成■

日本財団 (ニッポンザイダン)

■代表理事ごあいさつ■



公益社団法人 NEXT VISION 代表理事 三宅養三

感謝の言葉

公益社団法人NEXT VISIONが神戸アイセンターで活動を開始してからはや4年が経過しました。この2年はコロナ禍でいろいろ苦労したり学ぶことも多かったのですが、このような状態でもこれまでと変わらない、あるいはそれ以上のご支援、ご協力を賜った視覚障害の方々、患者団体、教育機関、寄附者、支援機関、Vision Parkのボランティアの方等々にまずは厚く御礼申し上げます。

NEXT VISIONの設立の心は視覚障害者の日常生活、就労などの社会参加活動等に対する様々な支援、視機能向上・回復のためのリハビリテーションを含む技術開発、さらには眼科領域における調査・研究を行うことで、これによりすべての視覚障害者の福祉向上と科学技術の発展に寄与することです。

NEXT VISIONの活動も年々その量、質ともに向上しており、一部その内容を示します。Vision Parkに訪問できない全国の人々に向けての情報ケアとしてオンライン動画配信によるiPadやiPhone使用法や活用法、社会復帰や社会の戦力化の相談事業、見えない、見えにくい方の生活の多角的支援、医療から福祉へのワンストップでつなぐことを目的とした連携事業等々により、今では福祉から教育へ、そして就労へのネットワークが広がりつつあります。

研究開発事業も行っており、情報化社会が進む中で見えない見えにくい方の生活就労支援に寄与する最新テクノロジーに関する研究開発により社会復帰、社会戦力化の向上を目指しております。また isee! "Working Awards"は就労事例と就労に関するアイデアを募集する事業で、今年度も多くの方々が公募に応じて下さいました。

国民の努力とワクチンの効果でコロナも収束方向が見えつつあります。コロナから学んだこともあり、視覚障害者がコロナに即したwithコロナの働き方改革が少しでも可能になるような知恵を皆で出し合い、これからも前進してまいります。今後共どうか宜しくお願い申し上げます。

■令和2年度事業報告■(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

- I. 実施事業
- 1. 視覚障害者に対する直接支援事業(公益目的事業①)
- (1) 当事者向け講座、セミナー事業、ビジョンパークチャンネル 遠隔で当事者、家族、支援者への情報提供を行い、地域性による情報格差 を軽減し、全国の情報障害者を減らします。
 - 1) ビジョンパークチャンネル
 - ●iPhone iPad活用ラウンジ
 - 2020/5/22 ロービジョン者のiPhone・iPadの便利機能 拡大して見やすくするアプリ、Siriによる音声操作の紹介など 参加者:31名
 - 2020/6/29 しゃべって使うiPhoneの機能やスマートスピーカーの活用 スマート家電、コロナ禍の買い物やメガネ型スピーカーなど 参加者: 17名
 - 2020/7/27 読むこと、書くこと、描くこと、見ることに活用 どう使って目的を達成するかの工夫、合わせ技も紹介 参加者:13名
 - 2020/8/24 ネットの情報バリアの現状から便利な情報まで皆様の質問に回答 文字をテキストに変換するLINEの機能や使いやすいWebページの紹介 参加者:64名
 - 2020/9/28 ウェアラブルデバイスによるヘルスケアの話題まで皆様の質問に回答 英会話上達の活用法、テレワークの課題、音声家電など 参加者:56名

2020/10/26ゲスト: 園 順一参加者: 59名2020/11/30ゲスト: 井上直也参加者: 62名2020/12/14ゲスト: 若宮正子参加者: 65名2021/1/9ゲスト: 谷口 遥参加者: 65名2021/2/15ゲスト: 御園政光参加者: 151名2021/3/29ゲスト: 品川博之参加者: 165名

(総評)

コロナより5月以降ビジョンパークでの現地開催からZoomをつかったオンライン開催へと変更しました。現在多くの方にテクノロジーリテラシー向上もあり毎回150名以上の参加があり、エリアを問わない情報処方が行えています。前半のスペシャルゲスト対談パートと後半の井上講師によるオンライン指導の時間を分けることでより満足度が高くなったと感じています。今後は医療者や支援者も含めてより多くの方に周知を広めていきたいと思います。

2) NEXT VISIONセミナー

2021/2/25 網膜再生医療の進展(医療従事者向け)

講師: 髙橋政代 参加者: 222名

2021/2/26 網膜再生医療の進展(一般向け)

講師: 髙橋政代 参加者: 349名

(総評)

新型コロナ感染拡大対策のためビジョンパークにおけるセミナー開催は困難と判断し、オンラインでの開催となりました。結果的に医療従事者向け、一般向けともに全国から参加があり、盛況となりました。対面によるセミナーの魅力はありますが、参加者の利便性を考えると新型コロナに関係なく、今後もオンラインによるセミナー開催は継続する価値があり、今後はハイブリッドにより開催を検討したいと考えます。

また、コロナ禍であっても人々が必要とする情報は変わらず存在し、コロナ禍だからこそ適時の情報提供が必要であると考えられることから、次年度以降は定期的なセミナーの開催を行う予定です。

3)「私の見え方・見えにくさ」伝え方講座

本講座は対面での講習となるため、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

(2) 当事者向け体験事業

見えない・見えにくい方を対象として、スポーツや映画鑑賞など様々な 文化体験をしてもらい、晴眼者と同じように趣味や生きがいを見つけて社 会生活を楽しむ機会を設けることで、見えない・見えにくい方の社会復帰、 社会の戦力化を支援する活動等を行います。

1) クライミング

(総評)

本年度はコロナに伴い実施することはできませんでしたが、コロナが落ち着くまでは開催は難しい状態は続くと考えます。コロナの収束をただ待つのではなく、ビジョンパークの象徴であるクライミングウォールを背景として今後も運動や趣味に関わる情報発信を行えればと思っています。

2)体幹トレーニング (オンライン開催)

2020/4/30 参加者 14名

9/4 参加者 26名

10 / 16 参加者 26名

11 / 6 参加者 30名

12/11 参加者 17名

2021/1/15 参加者 32名

2/12 参加者 35名

3/26 参加者 32名

(総評)

見えない、見えにくい方だけでなく、コロナ禍では外出制限やリモートワークの増加により運動の機会が減りました。ビジョンパークにおいて体幹トレーニングを対面で実施することは難しくなりましたが、オンラインを活用し画面を通して、あるいは音声のみで運動を行っていただくことができました。

床に座って行うだけでなく、イスに座ったままできるので、ご自宅だけでなくオフィスや病院の待合室など外出先からの参加者がいました。本トレーニングがコロナ禍に健康維持・管理に役立ったことは参加者からの感想や参加人数の増加と安定からわかります。今後も場所を問わず、年齢や性別に関係なく、どなたでも短時間(30分)で行える体幹トレーニングは心と体の健康維持・増進の役割を担っていきます。

3) 副音声ガイド付き映画上映体験会

本事業はビジョンパークにおいて多人数での開催となることから、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

4) eパラスポーツ 2020/10/31 参加者 22 名

(総評)

社会処方の一環として、ゲームを通したコミュニケーションや社会参加を 支援する企画。視覚障害者や肢体不自由の当事者たちによるアイデア集を共 有することに始まり、ゲームが持つ社会性や教育効果について当事者である 教育者や当事者とゲームのアクセシビリティ機能の現状や今後の期待などを 3時間に渡り対話しました。本企画を通して確かな手応えを感じており、今 後社会的処方箋としてゲームの教育効果や社会的・心理的回復効果を検証 していく予定です。 5) チャレンジド・ヨガ (オンライン開催)

2020/6/4 参加者 21名

7/28 参加者 12名

2/18 参加者 27名

2021/3/11 参加者 37名

(総評)

コロナ禍における運動不足の解消およびお話しする交流の機会のニーズが 高まったことからチャレンジド・ヨガの協力を得て、オンラインで体験会を 開催しました。ヨガ未経験者も外出することなく自宅で気軽に楽しめました。 また、チャレンジド・ヨガは視覚に障害のある方でもわかりやすいようイ ンストラクターが言葉のみで動きやポーズの説明をするので、高齢者にもわ かりやすいと好評でした。

(3) カウンセリング事業

見えない・見えにくい方の生活を多角的に支援するため、見えない・見え にくい方を対象とした座談会・相談会を開催し、社会資源の活用方法や補助 具等に関する各種情報提供し、患者同士のコミュニケーションの場の提供等 に取り組みます。

1)「ロービジョンの集い」の開催

内容: 見えない・見えにくい当事者を中心にご家族や支援の専門家などが集まり、日常生活での困りごとや情報の共有を行うほか、誰もが気軽に相談ができる集いの場を提供しました。

開催方法:オンライン

対象: 視覚障害者、一般 全10回の総参加者数: 321名

時期:月1回 計11回

- ①「こころとからだの健康を考える集い」参加者: 17名 2020/5/26
- ②「将来の夢や進路を考える集い」参加者:9名 2020/7/28
- ③「薬剤師さんに聞く!お薬のあれこれ」参加者:13名 2020/8/5
- ④「家事や趣味を楽しむ集い」参加者: 17名 2020/9/29
- ⑤「Withコロナ生活を安全に楽しみましょう!」参加者:26名 2020/10/20

- ⑥「人生を語り楽しむ集い」参加者:30名 2020/11/24
- ⑦「私たちの生活を変える!ナビレンズ(Navilens)を使ってみよう!!」参加者:56名 2020/12/22
- ⑧「見えない、見えにくい子どもさんを持つ親の集い」参加者:20名 2021/1/26
- ⑨「電子図書館利用法・活用法」参加者:65名 2021/3/17
- ⑩「仕事や家族のことを考える集い」参加者:68名 2021/3/30

(総評)

コロナ禍でビジョンパークでの開催ができなくなり、2020年3月に続き 4月も休止しましたが開催を希望する声があったことからオンライン開催に 切り替えました。ビジョンパークで開催していた時には定員が10名という こともあり、参加人数が10から15名程度でしたが、オンラインに切り替え たことで参加者が増え、人数だけでなく参加者の居住地も北海道から沖縄ま で全国に広がりました。

また、ロービジョンの集いは視覚障害者だけでなくその家族や友人知人が参加することが多かったのですが、就労している世代の参加は少ないのが課題でした。しかし、オンラインに切り替えたことで、職場からあるいは空き時間に参加が可能となり、「耳だけ参加」という聞くだけの参加者が出てきました。

視覚障害者は孤独を感じやすく、孤立しやすいと言われてきましたがコロナ禍においてはだれもが強制的に孤独、孤立を感じる環境に置かれ、一日中誰とも話さなかったという方もいました。

今年度のロービジョンの集いは、これまでのじっくり話をするという形式とは少し異なりましたが自宅や職場から自由に話せる場所をオンラインで提供することで、同じ障害や悩みを持つのは自分一人ではないことを知り、仲間がいる安心感が得られたと考えます。

コロナ禍では視覚に障害があるからこそ知りたい情報、社会の変化などテレビやラジオからは得られない情報があり、自宅や職場に居ながらにして得られたことが喜ばれ、最新のデバイスの紹介なども滞ることなく発信できたと思います。

コロナが収束してもビジョンパークでの対面での開催だけでなく、オンライン開催の必要性を感じており、次年度以降の開催方法をハイブリッドにすることを検討します。

2) 相談コーナーの運営

神戸アイセンターでは、「神戸アイセンター×ビジョンパーク連携カード」という連携カードによって神戸アイセンター病院の医師や視能訓練士、看護師などがロービジョンに関する情報提供が必要と感じたときに連携カードを発行する取り組みを行っています。

しかし、今年度はCOVID-19の感染拡大防止対策としてビジョンパークの休館を余儀なくされ、それに伴い相談様式の変更が必要となりました。

具体的には下記の通り、電話やICTを活用した相談対応を行いました。 ※下線ありはビジョンパークにスタッフ不在(リモートワーク)の期間

●4月1日~5月31日 ビジョンパーク全面休館、ビジョンパーク受付に 設置したiPadと電話による対応(写真1)



(写真1) ビジョンパーク受付

- ●6月1日~7月17日 通常対応
- <u>7月18日~8月31日</u> ビジョンパーク全面休館、ビジョンパーク受付設置したiPadと電話による対応
- ●9月1日~12月14日 ビジョンパーク開館、スタッフによる対応とビジョンパーク受付に設置したiPadによるハイブリッド対応
- ●12月15日~2月5日 ビジョンパーク一部締切、ビジョンパーク受付に 設置した相談受付用PC(写真2)とは別に相談専用コーナー2か所(写真3) を設置、電話による対応

※1月15日より連携カード読み取り用のスキャナを追加設置、2月1日より 資料印刷用プリンタを追加設置







(写真3) 相談専用コーナー

●2月6日~3月31日 ビジョンパークー部締切、感染防止対策としてアクリルボード設置、スタッフによる対応とオンラインによる受付(写真4)、相談専用PC(写真5)のハイブリッドで相談対応



(写真4)ビジョンパーク受付(PC)



(写真5)相談専用コーナー

今年度の相談件数は473件(月平均39.4件)で、うち連携カードによる相談が159件、連携カードなしの相談が314件でした(表1)。連携カードによる相談が減った原因はオンラインでの対応となったことで病院側から連携カードの発行が少なくなったことが一因と考えられます。実際に、先生方からも受付にスタッフがいない状況では患者さんを紹介しにくいというお声をいただきました。

全体の相談件数としては2019年度の788件と比較すると約60%(前年度比40%減)となっており、相談件数が減少したことはビジョンパークの休館やオンライン対応になったことが大きな要因と言えます。

しかし一方で、スタッフが常駐していない期間の相談(オンライン対応)であっても、連携カードを持たない方の相談があったことから患者さんは相談を必要とされ、オンライン相談を実施できたことがわかります。これは、世の中でオンライン(リモート)が一般的になり、患者さんにもニューノーマルとして受け入れられた結果と考えられ、徐々に相談件数が増加しました。

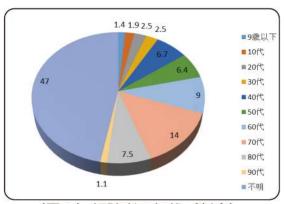
また、外部からの相談についてはビジョンパークの休館に伴い、人の移動を抑えるためにも積極的に電話での相談をご案内した結果、前年まで一定数あった外部の病院・クリニックからの紹介患者さんの相談は減少したと考えます。

(丰 -	1)	相談	十 米灯
IX	1)	们一直火工	十女人

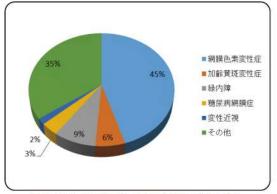
(単位:件)

	2020		2020					2021					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カードあり	7	1	6	11	1	15	22	31	17	4	20	24	159
カードなし	9	7	30	10	13	30	48	60	25	19	25	38	314
小計	16	8	36	21	14	45	70	91	42	23	45	62	473

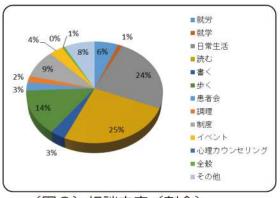
また、応対した相談者の年齢(図1)、疾患(図2)及び相談内容(図3) は多岐にわたるため、ご紹介する支援機器や用具(図4)も多岐に渡りますの で図を参考にしてください。



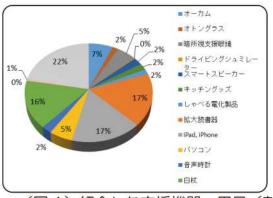
(図1) 相談者の年代(割合)



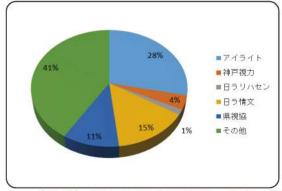
(図2) 相談者の疾患名(割合)



(図3)相談内容(割合)



(図4)紹介した支援機器・用具(割合)



(図5)紹介した支援機関・団体(割合)

3) 相談コーナーの運営(協力団体・機関との連携)

21の協力団体・機関と連携して実施する相談業務については148回でした(表2)。

これはCOVID-19感染拡大対策として各団体・機関がアウトリーチ活動を自粛したり、人員不足などそれぞれの事情で対応ができないことが原因であり、2019年の開催回数332回と比較すると45%(前年度比約55%減)となっています。

(表2) 支援協力機関・団体と相談コーナー開催数(単位:回)

団体名	実施回数
網膜色素変性症協会(生活とピアサポート)	34
神戸アイライト協会(生活・就労相談)	9
日本ライトハウス情報文化センター(生活相談・サピエ体験)	4
日本ライトハウスリハビリテーションセンター(生活・就労支援)	4
神戸視力障害センター(生活・就労相談)	4
G ラウンジ(iPhone/iPad 相談)	0
神戸市立盲学校(教育・就労相談)	11
兵庫県立視覚特別支援学校(教育・就労相談)	9
きららの会(若年層の生活・就労相談)	1
堺市立健康福祉プラザ(生活相談)	2
兵庫県立視覚障碍者福祉協会(生活・就労相談)	29
きんきビジョンサポート(生活・就労相談)	4
アイ・コラボレーション神戸(AI スピーカー相談)	0
神戸市立点字図書館(生活相談・サピエ体験)	6
障害者就労移行支援事業所サンヴィレッジ(就労相談)	2
兵庫盲ろう者友の会(生活相談)	7
システムギアビジョン(拡大読書器体験)	11
FQjapan (e-Sight 体験)	0
兵庫県立点字図書館	0
大阪府立大阪北視覚支援学校	0
視覚障害者就労相談人材バンク(就労相談)	11
合 計	148

他機関と連携した相談を継続するために、ビジョンパークにいる患者さんと外部機関をオンラインで結んで相談を行えるよう、12月15日からはビジョンパーク内に相談専用のPCを設置し、オンラインを導入していない支援機関等には使い方のサポートなどを行いました。

それにより、オンラインでの相談を実施する団体・機関が少しずつ増え、最終的に 7団体がビジョンパークに来ることなくオンラインによる相談を実施するようになり ました。また、2団体は準備を進めており、2021年度以降はオンライン対応が可能となる予定です。

他機関においても対面での相談が難しく、行っているところでも予約制や人数制限などがあり、相談を希望する人がすぐに対面相談をできる状況ではありません。オンラインによる相談はそういった状況であっても相談を行える手段として今後も定着すると考えられます。今後も他機関と連携して、対面でなくても必要な時に相談を実施できるよう、体制を整えていきます。

(総評)

今年度はCOVID-19に翻弄された1年で結果だけを見ると相談件数が減り、相談業務としての成果は低いと感じるかもしれません。しかし、人類がはじめて体験することになったCOVID-19の感染拡大という状況の中でも新しい相談様式を検討し、できることから始め、既存のサービスや資源を活用してシステムを構築できたことはひとつの成果であると考えます。

今後も継続すると思われるCOVID-19感染対策、さらには地震や台風などの自然災害時にも活用できるオンライン相談は遠隔診療にも応用できる可能性があります。神戸アイセンターが打ち出している眼のワンストップセンターとしての機能を持続させるためには、オンラインの活用が有効かつ必要不可欠ではないかと今年度の取り組みの中で感じました。

研究・治療だけでなく、ロービジョンケアが医療従事者にとってハードルの高い、 難しいものであっては普及しません。いちばん重要なのはロービジョンケアが必要な 患者に、必要な時につながることで、同時に医療従事者が無理をせずにできること です。

それを実現できるということを実感できた1年でしたので、このオンラインを活用した相談システムの取り組みについては視覚障害リハビリテーション研究発表大会(2021年8月12日から9月12日、WEB開催)において発表する予定です。その発表を通して、治療・研究だけでなく同時に必要となるロービジョンケアの重要性をお伝えしたいと思います。

4) 遠隔相談

一般眼科に通院する視覚障害者に対してテレビ電話を介して情報提供に取り組みます。本事業は、理事の仲泊が2017年度~2020年度にAMED研究事業として行いました「ICTを活用した寡少専門家による地域・在宅ロービジョンケア」で培ったサービスシステムを当法人に対して高額寄付を行なった眼科医療機関に呼びかけて行うものです。

(総評)

一部の眼科医療機関への勧誘をしましたが、実現には至りませんでした。また、コロナ禍でビジョンパークが稼働しなくなり、参加していただく福祉担当の調整も困難で、本年度での施行を見合わせました。しかし、コロナ禍で培った通信技術を用いて、今後更なる勧誘を行い、次年度での実践について検討していきたいと考えております。

(4) 研究開発事業

情報化社会が進む中で見えない・見えにくい方の生活・就労支援に寄与する最新テクノロジーに関する研究開発を行い、その成果を社会還元することにより、見えない・見えにくい方の社会復帰・社会戦力化支援に資することを目的とします。

1) 視覚ダイナミックレンジテストの有効性評価

東海光学株式会社との共同研究契約を基盤として、大阪大学、新潟大学、獨協大学、慈恵医大および神戸アイセンター病院による多施設共同研究を企画、2020年8月末を期限として施行しました。その成果を日本ロービジョン学会で発表し、さらにJAPANESE JOURNAL OF OPTHALMOLO GY誌に報告しました。同共同研究は予定期間をもって終了しましたが、これで得られた技術を用い、神戸アイセンター病院でデータ採取を進め、それをもとに日本眼光学学会で発表いたしました。今後は、新たな研究事業として同病院との共同事業として継続する予定です。

2) 視覚障害者の転落事故低減を目的とした電子式歩行補助具の空間認識技術の研究開発

JR西日本あんしん社会財団の研究費助成金によって行っている九州工業大学石井研究室との共同研究です。単年度助成を3年連続で受託しました。視覚障害者安全つえの機能拡張として、杖先の障害物または落ち込みの検知が可能で、その情報を振動で知らせるものを目指しています。本年度は、赤外線センサーを赤外線を用いた距離画像を取得するカメラに置き換えて、装置の精度向上を図りました。本結果については、日本ロービジョン学会および感覚代行シンポジウムで報告しました。なお、本研究助成は、一旦終了となりますが、コロナ禍による特例で、2021年8月まで研究事業を継続することになっています。

(総評)

研究開発事業としては、企業との共同研究契約に基づき、アカデミアとの連携のもと上記2種を行いました。1)は、学会発表と論文作成を行いました。2)は、2年目までの経過を学会発表しましたが、センサーを大胆に置き換えたため、被験者実験には至らず、当初の予定からは遅れ気味です。今後も新たな研究を新たなパートナーと企画遂行して参る所存です。

2. 視覚障害者に対する間接支援事業(公益目的事業②)

(1) コンテスト事業

1) isee! "Working Awards" 2021

今年で5回目となる「isee! "Working Awards"」は、「就労」に焦点をあて、視覚障害者(見えない、見えにくい人)がどのように働いているのか【事例】、また、どうすれば働けるのか、あるいはどんな働き方ができるか【アイデア】を募集しました。

応募された【事例】と【アイデア】を審査員に選んでいただき、広く社会に発信することで、視覚障害者の社会参加、就労、ひいては社会の戦力として働き、社会の損失を軽減させることを目的としています。

本年の応募数は、51件で、内訳は、事例部門が22件、アイデア部門が29件でした。事例部門及びアイデア部門いずれも増加し、これまでの応募数を上回りました。

審査の結果、事例部門の入賞が5件、事例部門の入選が12件でした。また、アイデア部門の入賞が5件、アイデア部門の入選が13件でした。

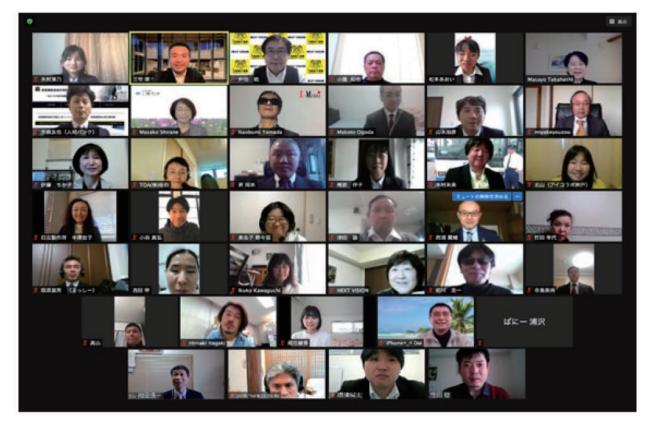
募集期間:2019年7月1日~10月31日

isee! "Working Awards" 2021受賞者発表 • 授賞式

日時:2021年2月28日(日) 13:30~15:30

開催方法:Zoomによるオンライン参加者数:153名

(うち受賞者33名、審査員8名、スタッフ7名、一般参加者105名)



(総評)

今回で5回目の募集でしたが、関係機関に募集案内を周知した結果、応募数が増加しました。まだまだ多くの応募を期待していますので、今後も周知を進めたいと思います。毎年、応募いただいた内容については、事例、アイデアともに充実したものが多く、審査員からも高く評価をしていただいています。受賞されなかったものについても、応募された内容を何らかの方法で公開できればとのご意見もいただきました。

今年の発表・授賞式は新型コロナウィルスのため、完全オンラインでの授賞 式となりました。オンラインだったことで全国から多数の参加者があったこと はプラスでした。受賞者本人から受賞内容の紹介をしていただき、より発表者 の思いを伝えることができました。授賞式終了後の受賞者同士の交流の機会が 持てなかったことが残念に感じました。

受賞者の事例及びアイデアの内容については、公益社団法人NEXT VISION のホームページで公開し、広く社会の人々に知っていただけるように情報発信をしています。また、事例とアイデアの内容、審査員のコメントを冊子にまとめた就労事例・アイデア集を作成し、広く本事業の内容を周知させるため配布を行っています。

2) サンキューカードを使った周知啓発

見えない、見えにくい方の移動を多角的に支援するために正しいガイドの 仕方を一般の方に周知するとともに、一人でも多く就労・就学で困っている 視覚に障害のある方を見つけることを目的に配布しました。また、視覚に障 害のある方を見つけ、必要な情報・支援につなげる活動を見えない、見えに くい視覚に障害のある方にお手伝いいただくことで活躍の場を広げる効果も あります。





おもて面

うら面

配布する地域は視覚障害者の活動地域となるため全国であり、昨年度に引き続き、下記団体等を通じて配布しました。

特定非営利活動法人タートル

社会福祉法人日本ライトハウス 情報文化センター

社会福祉法人日本ライトハウス リハビリテーションセンター

国立神戸視力障害センター

堺市健康福祉プラザ

兵庫県視覚障害者福祉協会

日本網膜色素変性症協会

日本視覚障害者団体連合

神戸市立盲学校

兵庫県立視覚特別支援学校

埼玉県立盲学校

岡山県立盲学校

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

神戸市立点字図書館

非営利活動法人神戸アイライト協会

HOYAビジョンケアカンパニー

株式会社システムギアビジョン

株式会社尼崎眼鏡院

HOT POTの会

三輪書店(「ポイントマスターロービジョンケア外来ノート」に付属)

(総評)

支えられる側であった視覚障害者が、サンキューカードを配布することで視機能に不安や障害を持つ人を掘り起こし、情報を伝えるといった新たな役割を担うことになりました。また、カードを配布された一般の方にとっては、視覚障害者への声のかけ方や手引きの仕方を知る機会となり、社会貢献の一助となる可能性が生まれたと考えます。

配布を継続するにあたり、本事業に賛同し協賛してくださる企業を探すことが 次年度以降の課題です。

(2) 講演・セミナー事業

1) ロービジョンセミナー

「ポイントマスター!ロービジョンケア外来ノート」を所有している人を対象として、これをテキストとしたwebセミナーを6月から3月までの毎月1回行いました。本テキストを執筆した者を講師として、15分程度の講演を2本とその質疑応答を行いました。203名の通年会員と3名の単回会員を得ました。10回のセミナーの講義部分を編集し、第1回と第2回を公開、第3回以降の8回を会員限定として、YouTubeに公開し、総計で3460回の視聴が行われました。

2) ロービジョン支援ホームページの運用

理事の仲泊が2010年から積み上げてきたロービジョンケアの用語説明と施設リンクを目的としたホームページ(https://www.shikakuriha.net)をNEX TVISIONのサーバー上に移設しました。2021年3月までに19800件(2020年4月には16500件)のアクセスがありました。今後はNEXT VISIONのホームページから入れるようになる予定です。

3)日本眼科医会連携

地方においては視覚障害者が最初に受診する可能性が高いのは地域の眼科クリニックであり、全国の眼科クリニックの開業医が所属する日本眼科医会と連携しました。isee!運動での眼科医賞の追加や日本眼科医会のHPと連携などを通して開業医の眼科医への情報発信を強める予定です。

4)視覚障害者体験VR研修

視覚障害者が周囲の人に自分が視覚障害者であり困難さを的確に伝えれらない背景には、視覚障害の種類や困難さの多様性を周囲のメンバーが認識しにくい背景があります。VRを利用した教育コンテンツでは1人称で困難さを理解することができるため、支援者教育の強力なコンテンツとなり得るため、VRコンテンツの開発の指導を行い、教育ソフトを開発しました。今後リアルな研修が開催できる時期がきたら、研修コンテンツとして導入予定です。

(3) ビジョンパークを活かした情報発信

本事業は新型コロナ感染拡大対策のため行うことができませんでした。今後も状況をみながらの実施になる予定です。

(4) みんなで作るビジョンパーク会議

寄附者、賛助会員、連携協力機関の方への活動報告と意見交換会をオンラインで実施しました。 2020/11/29 大感謝祭2020 参加人数:62名 (内容) 活動報告

世界にひとつだけのストーリー(利用者インタビュー)8名 支援者からの声 5団体 グループトーク(参加者による交流・意見交換会)

(総評)

寄附者、賛助会員は報告書等でNEXT VISIONで実施している事業、活動内容は知っていても、実際に利用者がどのように思い、生活が変化するかまでは知ることはできません。そこで今回は利用者ご本人に実際に活動に参加してよかったことや情報が得られたことで人生にどのような影響があったかなどお話いただくことで、NEXT VISION事業やビジョンパークの役割について知っていただく機会になったと思います。

また、支援機関の方々からもビジョンパークでのアウトリーチ活動についてお話いただいたことで一般の方に、その機関が普段どのような活動を行っているかお知らせすることができました。

今後もNEXT VISIONの活動やビジョンパークの役割を理解し、支援をいただけるよう情報を発信し続けることで法人の運営を安定させ、より多くの視覚に障害のある方と情報を必要とする方への支援活動を行いたいと思います。

Ⅱ. 法人運営

1. 理事会

第16回 令和2年6月29日 議題

- 1. 令和元年度の事業報告及び計算書類の承認
- 2. 社員総会の招集と議案等の承認
- 3. 役員報酬規程の改定の承認
- 4. 理事の任期満了に伴う後任者選任の承認
- 5. 職務の執行状況についての報告

第17回 令和2年7月17日 議題

- 1. 代表理事1名選定の承認
- 2. 常務理事1名選定の承認

第18回 令和3年2月28日 議題

- 1. 令和3年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込 を記載した書類の承認
- 2. 社員総会の招集と議案の承認
- 3. 職務の執行状況について報告

2. 社員総会

第15回 令和2年7月17日 議題

- 1. 令和元年度事業報告及び計算書類の承認
- 2. 役員報酬規程の改定の承認
- 3. 理事の任期満了に伴う後任者選任の承認

第16回 令和2年2月28日 議題

1. 令和3年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

令和 3年 3月31日現在						
公益社団法人NEXT VISION			(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減			
I資産の部						
1. 流動資産	00 000	074 010	A 00F 017			
現金	68, 393	274, 210	△ 205, 817			
未収金	5, 500, 000	0 000	5, 500, 000			
貯蔵品	100,000	81, 000	19,000			
前払費用	7, 697, 374	0	7, 697, 374			
流動資産合計	13, 365, 767	355, 210	13, 010, 557			
2. 固定資産						
(1) 定資産	00 660 540	06 665 010	A 6 002 270			
公益事業目的積立資産	80, 662, 540	86, 665, 919	△ 6, 003, 379			
法人管理目的積立資産	81, 306, 927 161, 969, 467	89, 770, 425	△ 8, 463, 498			
特定資産合計 (2) の他固定資産	101, 909, 407	176, 436, 344	△ 14, 466, 877			
建物付属設備	295, 650	344, 925	△ 49, 275			
注 物 的 属 設	7, 239, 609	9, 493, 347	△ 2, 253, 738			
ソフトウェア	599, 400	793, 800	△ 194, 400			
その他固定資産合計	8, 134, 659	10, 632, 072	△ 2, 497, 413			
固定資産合計	170, 104, 126	187, 068, 416	△ 16, 964, 290			
資産合計	183, 469, 893	187, 423, 626	△ 3, 953, 733			
貝 圧 口 미	100, 400, 000	107, 420, 020	A 0, 900, 700			
Ⅱ 負債の部						
1.流動負債						
未払金	286, 061	0	286, 061			
前受金	183, 000	1, 790, 000	△ 1, 607, 000			
預り金	175, 738	179, 188	△ 3, 450			
短期借入金	111, 700	111, 700	2 0, 100			
仮受金	0	0	Ö			
未払法人税等	72, 000	72,000	0			
流動負債合計	828, 499	2, 152, 888	△ 1, 324, 389			
負債合計	828, 499	2, 152, 888	△ 1, 324, 389			
皿正味財産の部	,					
1. 指定正味財産						
寄付金	171, 870, 223	173, 990, 906	△ 2, 120, 683			
指定正味財産合計	171, 870, 223	173, 990, 906	△ 2, 120, 683			
(う ち 基 本 財 産 へ の 充 当 額)	0	0	0			
(うち特定財産への充当額)	(161, 969, 467)	(173, 990, 906)	12, 021, 439			
2. 一般正味財産						
一般正味財産	10, 771, 171	11, 279, 832	△ 508, 661			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0			
(うち特定財産への充当額)	0	(2, 445, 438)	2, 445, 438			
一般正味財産合計	10, 771, 171	11, 279, 832	△ 508, 661			
正味財産合計	182, 641, 394	185, 270, 738	△ 2, 629, 344			
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	183, 469, 893	187, 423, 626	△ 3, 953, 733			

正味財産增減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

令和 2年 4月 公益社団法人 NEXT VISION	1日から令和 3年 3月31日ま	· С	(単位:円)
科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部	17		
1.経常増減の部 (1)形状収益			
事業収益	12, 321, 550	9, 590, 122	2, 731, 428
事業収益	12, 321, 550	9, 590, 122	2, 731, 428
受取補助金等 受取補助金等振替額	10, 083, 947 10, 083, 947	14, 556, 400 14, 556, 400	△ 4, 472, 45 △ 4, 472, 45
受取寄付金	23, 579, 931	27, 588, 198	△ 4,008,26
受取協賛金	3, 630, 000 19, 949, 931	3, 765, 000	△ 135, 00 △ 3, 873, 26
受取寄付金 雑収益	285, 974	23, 823, 198 1, 428	284, 546
受取利息	424	1, 428	△ 1,00
雑収益 経常収益計	285, 550 46, 271, 402	51, 736, 148	285, 550 \$\triangle 5, 464, 74
(2) 経常費用	00000000000000000000000000000000000000	7000 ENG STORAGE	W. Watterson
事業費	42, 672, 746 2, 160, 000	43, 145, 790 2, 160, 000	△ 473, 04
役員報酬 給料手当	13, 112, 564	13, 525, 188	△ 412, 62
臨時雇賃金		146, 860	△ 146,86
福利厚生費 法定福利費	24, 904 1, 818, 608	35, 364 1, 993, 830	△ 10, 46 △ 175, 22
会議費	57, 088	191, 828	△ 134,74
旅費交通費 通信運搬費	993, 306 368, 558	3, 056, 464 281, 288	△ 2,063,15 87,270
滅価償却費	2, 372, 543	201, 200	2, 372, 543
消耗什器備品費	1, 652, 306	35, 052	1, 617, 254
消耗品費 印刷製本費	140, 745 2, 127, 598	800, 628 429, 402	△ 659, 88 1, 698, 196
地代家賃	12, 262, 661	11, 470, 216	792, 445
光熱水料費	542, 765	605, 036 95, 040	△ 62, 27
賃借料 保険料	702, 242 241, 966	474, 094	607, 202 △ 232, 12
諸謝金	679, 642	99, 096	580, 546
租税公課 支払手数料	193, 230 183, 778	272, 688 154, 828	△ 79, 45 28, 950
委託費	433, 200	4, 038, 796	△ 3, 605, 59
雑費	20, 022	230, 128	△ 210, 10
諸会費 支払報酬	68, 800 2, 516, 220	57, 000 2, 992, 964	11, 800 △ 476, 74
管理費	4, 035, 317	7, 897, 609	△ 3,862,29
役員報酬 給料手当	240, 000 1, 456, 950	240, 000 1, 502, 799	△ 45, 84
福利厚生費	2, 766	3, 930	△ 1.16
法定福利費	202, 067	221, 537 9, 536	△ 19, 47 △ 3, 19
会議費 旅費交通費	6, 344 86, 394	215, 957	△ 129, 56
通信運搬費	40, 950	31, 255	9, 69
減価償却費 消耗品費	124, 870 674, 388	3, 416, 505 947, 033	△ 3, 291, 63 △ 272, 64
印刷製本費	15, 672	19, 236	△ 3,56
地代家賃 光熱水料費	645, 403	603, 694	41, 709 △ 3, 27
尤然水料資 賃借料	28, 567 41, 361	31, 845 10, 560	30, 801
保険料	26, 884	52, 676	△ 25,79
諸謝金 租税公課	39, 600 10, 170	14, 351	39, 600 △ 4, 18
支払手数料	12, 792	13, 094	△ 30
委託費 雑費	2, 059	144, 204 25, 570	△ 144, 20 △ 23, 51
来 交際費	91, 300	21, 600	69, 700
諸会費	7, 200	3, 000	4, 200
新聞図書費 支払報酬	279, 580	36, 676 332, 551	△ 36, 67 △ 52, 97
経常費用計	46, 708, 063	51, 043, 399	△ 4, 335, 33
評価損益等調整前当期経常增減額 評価損益等計	△ 436, 66 0	692, 749	△ 1, 129, 41

科目	当年度	前年度	增減
当期経常増減額	△ 436, 661	692, 749	△ 1, 129, 410
 経常外増減の部 経常外収益 	0	0	0
経常外収益計	ŏ	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 436, 661	692, 749	△ 1, 129, 410
法人税等	72, 000	72, 000	0
当期一般正味財産増減額	△ 508, 661	620, 749	△ 1, 129, 410
一般正味財産期首残高	11, 279, 832	10, 659, 083	620, 749
一般正味財産期末残高	10, 771, 171	11, 279, 832	△ 508, 661
II 指定正味財産増減の部 受取補助金等 受取補助金等 受取に間助成金 受取客付金 受取寄付金 受取寄付金 一般正味財産への振替額 地方公共団体補助金 民間助成金 寄付金 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期高	12, 932, 400 7, 262, 400 5, 670, 000 14, 980, 795 14, 980, 795	14, 556, 400 3, 496, 400 11, 060, 000 44, 750, 306 44, 750, 306	△ 1, 624, 000 3, 766, 000 △ 5, 390, 000 △ 29, 769, 511 △ 29, 769, 511 8, 345, 720 △ 3, 766, 000 8, 238, 453 3, 873, 267
指定正味財産期末残高 指定正味財産期末残高 III 正味財産期末残高	182, 641, 394		

正味財産增減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位:円) 公益社団法人 NEXT VISION 公益目的事業会計 収益事業等会計 科 法人会計 슴計 公1 (直接支援) 公2 (間接支援) 小計 般正味財産増減の部 経常増減の部 (1) 経 事業収益 11, 030, 000 919, 200 11, 949, 200 372, 350 12, 321, 550 11, 949, 200 372, 350 12, 321, 550 事業収益 11,030,000 919, 200 受取補助金等 10, 083, 947 6,038,747 3, 631, 200 9, 669, 947 414,000 受取補助金等振替額 6, 038, 747 3, 631, 200 9, 669, 94 414,000 10, 083, 947 0 23, 579, 931 3, 630, 000 受取寄付金 4, 124, 970 16, 119, 618 20, 244, 588 3, 335, 343 受取協賛金 907, 500 907, 500 1, 815, 000 1, 815, 000 受取寄付金振替額 3, 217, 470 15, 212, 118 18, 429, 588 1,520,343 19, 949, 931 雑収益 0 285, 974 285, 974 受取利息 424 424 285, 550 46, 271, 402 雜収益 21, 193, 717 20, 670, 018 41, 863, 735 372, 350 4 035 317 経常収益計 (2) 経 事業費 21, 193, 717 20, 670, 018 41, 863, 735 809.011 42, 672, 746 2, 160, 000 13, 112, 564 役員報酬 080 000 1 080 000 2 160 000 給料手当 6, 556, 282 6, 556, 282 13, 112, 564 0 24, 904 1, 818, 608 24, 904 1, 818, 608 福利厚生費 12, 452 12, 452 0 909 304 909 304 法定福利費 28, 544 28, 544 57,088 0 57, 088 会議費 旅費交通費 993, 306 368, 558 604 528 388, 778 993 306 通信運搬費 368, 558 184 279 184 279 減価償却費 1, 123, 836 1, 123, 836 2, 247, 672 124, 871 2, 372, 543 消耗什器備品費 652 306 1, 652, 306 1, 652, 306 140, 745 140, 745 3.894 136 851 消耗品費 印刷製本費 70, 524 2, 057, 074 2, 127, 598 2, 127, 598 地代家賃 光熱水料費 5, 808, 629 257, 099 5, 808, 629 257, 099 11, 617, 258 514, 198 645, 403 12, 262, 661 542, 765 28. 567 賃借料 516, 121 186, 121 702, 242 702, 242 保険料 120,983 120.983 241.966 241, 966 679, 642 679, 642 221, 269 458, 373 諸謝金 租税公課 91,530 91,530 183, 060 10, 170 193, 230 183, 778 433, 200 支払手数料 126 209 57.569 183, 778 委託費 389, 200 44,000 433, 200 9, 261 10, 761 20,022 0 20,022 諸会費 36 400 32 400 68 800 68, 800 支払報酬 0 2, 516, 220 1, 258, 110 1, 258, 110 2, 516, 220 管理費 役員報酬 給料手当 0 4, 035, 317 4, 035, 317 240 000 240 000 1, 456, 950 1, 456, 950 2, 766 202, 067 2, 766 202, 067 福利厚生費 0 0 法定福利費 6, 344 会議費 6, 344 86, 394 40, 950 旅費交通費 00000000000000 86, 394 通信運搬費 40, 950 減価償却費 124, 870 124, 870 674, 388 15, 672 674, 388 15, 672 消耗品費 印刷製本費 地代家賃 645, 403 645, 403 28, 567 41, 361 28, 567 41, 361 光熱水料費 賃借料 保険料 26, 884 26, 884 諸謝金 39, 600 10, 170 39, 600 10, 170 和税公課 支払手数料 12, 792 12, 792 雑費 交際費 2 059 2.059 91, 300 7, 200 91, 300 諸会費 7. 200 279, 580 46, 708, 063 支払報酬 279 580 21, 193, 717 20, 670, 018 41, 863, 735 経常費用計 4. 035. 317 評価損益等調整前当期経常増減額 △ 436, 66 評価損益等計 当期経常増減額 0 △ 436,66 △ 436, 66 2. 経常外増減の部 (1) 経常 経常外収益計 0 (2) 経常 0 0 0 経常外費用計 当期経常外增減額 0 △ 436, 66 72, 000 △ 508, 66 11, 279, 832 10, 771, 171 △ 436, 66 72, 000 △ 508, 66 税引前当期一般正味財産増減額 0 法人税等 本人祝寺 当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高 11, 856, 102 11, 856, 102 △ 576, 27 △ 1, 084, 93 0 0 0 般正味財産期末残高 指定正味財産増減の部 12, 518, 400 7, 262, 400 12, 932, 400 7, 262, 400 受取補助金等 8, 887, 200 3, 631, 200 414,000 0 受取地方公共団体補助金 3, 631, 200 3, 631, 200 受取民間助成金 256,000 256,000 5, 670, 000 0000 414,000 9, 577, 756 9, 577, 756 5, 403, 039 5, 403, 039 14, 980, 795 14, 980, 795 受取寄付金 853, 878 4, 723, 878 受取寄付金 853 878 4. 723. 878 4 般正味財産への振替額 地方公共団体補助金 9, 256, 21 △ 18, 843, 31 △ 28,099,53 △ 1,934,34 △ 30, 033, 87 Δ △ 7, 262, 40 △ 2, 821, 54 3, 631, 20 2, 407, 54 △ 7, 262, 40 △ 2, 407, 54 Δ △ 3,631,20 △ 414.00 民間助成金 Δ △ 1,520,34 3,882,696 87,324,987 91,207,683 103,063,785 △ 18, 429, 58 △ 6, 003, 37 86, 665, 919 △ 19, 949, 93 △ 2, 120, 68 173, 990, 906 15, 212, 11 受取寄付金 Δ △ 10, 488, 24 24, 307, 226 13, 818, 986 13, 818, 986 4, 484, 861 62, 358, 693 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高 66, 843, 554 66, 843, 554 80, 662, 540 80, 662, 540 指定正味財産期末残高 △ 1,084,93 正味財産期末残高

2022 年に向けて

~変わる勇気と変える叡智を~



高橋 政代 公益社団法人 NEXT VISION 理事 株式会社ビジョンケア 代表取締役社長

いつもNEXT VISIONの活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。 早いもので、NEXT VISIONは神戸アイセンター・ビジョンパークで活動を始めて5年目に入ります。5年という節目の年を迎えるにあたり、NEXT VISIONも変化の時を迎えているような気がします。2021年は社会全体がそうであったようにCOVID-19の影響で、ビジョンパークでの活動は大きく様変わりしました。これまで、当たり前に行ってきたイベントはリアルでは開催できず、対面での相談も距離を保つなど、これまでの「普通」がある日突然「普通」ではなくなることを目の当たりにしました。

しかし、私たちはこれもひとつのチャンスととらえ、イベントや相談をオンラインに切り替え、大きく転換することができました。実際、これまでビジョンパークでイベントを行っていた時と比べて参加人数は増え、しかも全国さらには海外からの参加者も増えました。これはうれしい驚きで、このように人は変わるべき時には変化を受け入れ、さらによりよくなる力を持っていると気づかされました。

今年、網膜色素変性をはじめとする網膜疾患の治療や再生医療の仕組み作りなど公益性の高い事業を行うために特許の利用を認めてもらえるよう特許庁に裁定の請求を求めました。みなさんにご心配をおかけしましたが、これは決してこれまでの研究が遅れたとかこれからの研究が全く進まないということではなく、できるだけ早く公益性の高い事業に取り組むための手段のひとつであり、現段階では研究が順調に進んでいることをお伝えしたいと思います。

私は再生医療を標準治療としてみなさんの元にお届けし、喜んでくださる笑顔を見たいという一心で活動しています。そして、治療と同じくらい大切なのがロービジョンケアであり、NEXT VISIONで行うさまざまな活動です。必要だと思うことは方法や道具を駆使して全部実現して、みなさんを笑顔にするのが私の役目だと思っています。

私たち人間は変わる勇気、物事を変える叡智を持っています。みなさんと一緒に新しい未来に向かって歩んでいきたいと思いますので今後ともご支援よろしくお願いいたします。

memo

